

いっしょがく館だより

令和6年5月号



3月24日(日)に、生涯学習講座合同閉講式が行われました。

来場者には茶道教室からお茶が振舞われ、和やかな雰囲気の中お茶を楽しみました。

受講生代表あいさつでは、「奄美のものづくり講座」平瀬 理恵さんが講師への感謝と、講座を通じた出会いや経験を語りました。

式後には講座による舞台発表が行われ、合唱や手話、演奏や舞踊など一年間の活動の成果を披露しました。最後は六調太鼓・三味線教室による六調で締められました。講師の皆さん、受講生の皆さん、1年間ありがとうございました。



5月から巡回図書(図書バス)がスタートしました! 龍郷町内の保育園や小学校を月1回まわって本の貸し出しを行っています。こどもたちの楽しそうな笑顔や、「この本読みたい!」の声が励みになります!

《一般書》

- 『おうちで「給食」ベストレシピ』(kids_cookinging/宝島社)
- 『はじめての盆栽づくり』(松井 孝/主婦の友社)
- 『サクサクと読み解く地域経済の勘どころ』(緒方 哲/鉦脈社)
- 『リカバリー・カバヒコ』(青山 美智子/光文社)
- 『ピブリア古書堂の事件手帖 4』(三上 延/KADOKAWA)
- 『現代民俗学入門』(島村 恭則/創元社)
- 『ぼくのママはプロサッカー選手』(岩清水 梓/小学館クリエイティブ)
- 『はじめての新NISA & iDeCo』(頼藤 太希/成美堂出版)
- 『株式会社の設立と運営が1冊でわかる本』(横須賀 輝尚/技術評論社)
- 『日本初の女性裁判所長 三淵嘉子』(平凡社)
- 『BLANK PAGE』(内田 也哉子/文藝春秋)
- 『奄美の森・生き物図鑑』(山口 喜盛/南方新社)
- 『奄美でハブを40年研究してきました。』(服部 正策/新潮社)
- 『奄美雑話 地理学の目で群島を見る』(須山 聡/海青社) 他

《児童書》

- 『子どもがつくれるプレゼント菓子』(柴田書店)
- 『オニガシマラソン』(トロール/教育画劇)
- 『ありえない』(内田 麟太郎/ハッピーオウル社)
- 『飛行機の学校』(今野 友和/ニュートンプレス)
- 『「ぼくら」シリーズ』(宗田 理/ポプラ社)
- 『だんだんできてくる 遊園地』(フレーベル館)
- 『楽しく学べる歴史図鑑 土偶』(山田 康弘/スタジオタッククリエイティブ)
- 『もやもやすっきり! 10歳からのこころケア』(横山 恭子/くもん出版)
- 『とんとんもんちゃん』(とよた かずひこ/童心社)
- 『はじめての子どもパン教室』(吉永 麻衣子/主婦の友社)
- 『早口ことばえほん』(おおたに けんた/文響社)
- 『こっちをみてる。』(となり そうしち/岩崎書店)
- 『つちたち』(ミロコマチコ/Gakken) 他

今月のおすすめ本

《一般書》

『初心者のための水墨画入門』(塩澤 玉聖/主婦の友社)
水墨画がやさしい解説で基礎から学べます。花や植物、風景、干支などの動物など、さまざまなモチーフのお手本を多数掲載しており、上達のためのコツがよく分かります。

《児童書》

『本のPOPを作ろう!』(理論社)
POPってなんだろう? POPの役割を解説して、プロのPOP職人によるおすすめPOPをタイプ別に紹介。実践編として、本の選び方から道具、書体など詳しい作り方のプロセスを記載!

